

令和2年9月22日

当院における新型コロナウイルス感染者の発生について（第16報）

鈴鹿厚生病院
院長 中瀬 真治

令和2年9月2日、当院において新型コロナウイルス感染者が発生いたしました。患者さま、職員の健康観察を行いながら、適宜PCR検査を実施した結果、新たに入院患者1名の陽性が判明いたしました。合わせて、入院患者55名、職員12名の感染を確認しています。

当院で感染が判明した後、県内の医療機関に転院し、治療を行っていた患者さま1名がお亡くなりになりました。ご遺族の方に哀悼の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

当院において、クラスターが発生する事態となり、患者さまやご家族、地域の皆様には多大なご心配、ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

引き続き県のクラスター対策グループ、保健所の指導に基づき、職員濃厚接触者を自宅待機とし、患者さま、職員への十分な健康観察とともに、施設内の徹底した消毒作業を行っています。

診療につきましては、行政の指導のもと、外来（初診）およびデイケアセンターの休止、入退院の制限等を行っています。通院中の患者さまにはなるべくご不便となりませんよう、問診や電話を用いた処方などで対応させていただきます。

皆様には多大なご心配・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。